

平成27年度 第9回安城市定例教育委員会会議録

日 時 平成27年11月19日(木) 午後1時30分

場 所 安城市教育センター 会議室

出席した委員 大見 宏 委員長
船尾恭代 委員長職務代理者
都築雅人 委員
鳥居恵子 委員
杉山春記 教育長

出席した職員 杉浦三衛 教育振興部長
神谷秀直 生涯学習部長
寺澤正嗣 生涯学習部次長
早川雅己 総務課長
渡辺恭二 総務課主幹
兵藤伸彦 学校教育課長
沓名 勉 生涯学習課長
野畑 伸 スポーツ課長
岡田知之 中央図書館館長
石川芳弘 中央図書館主幹
牧 浩之 文化振興課長
筒井良廣 総務課課長補佐

傍聴者 なし

開 会 午後1時31分

日 程

第 1 前回会議録の承認

平成27年11月5日開催の定例教育委員会会議録

第 2 委員長、教育長等の報告

<委員長>

11月10日 安城南中学校研究発表会

11月13日 総合計画審議会

11月15日 安美展表彰式

- 1 1月18日 葬儀（元教育委員 神谷茂氏）
 <教育長>
- 1 1月 6日 附属特別支援学校研究協議会
 老人クラブ連合会菊花展
- 1 1月 8日 吹奏楽フェスティバル
- 1 1月 9日 茶臼山野外センター閉村あいさつ
- 1 1月10日 安城南中学校研究発表会
- 1 1月11日 梨の里小学校現職教育訪問
- 1 1月12日 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会
 西三河地方事務協議会・幹事会
 第2回教育長会議
- 1 1月13日 篠目中学校現職教育訪問
 総合計画審議会
 まちかど座談会（西部公民館）
- 1 1月14日 学芸会（明和小学校、志貴小学校）
- 1 1月15日 安美展表彰式
- 1 1月16日 安城北中学校現職教育訪問
 税を考える週間表彰式
- 1 1月17日 定例校長会
 三河部都市教育長協議会
- 1 1月18日 葬儀（元教育委員 神谷茂氏）
 管内管外転入希望教員面接
 まちかど座談会（昭林公民館）
- 1 1月19日 まちかど座談会（世代別）

以上に出席しました。

第 3 議題

- (1) 平成27年度卒業式並びに平成28年度入学式について
 議題(1)について学校教育課長説明する。

内容：平成27年度卒業式並びに平成28年度入学式の期日を小中学校に示したい。

(全員異議なし承認)

- (2) 平成27年度卒業式の出席について

議題（２）について学校教育課長説明する。

内容：平成２７年度卒業式の出席者を小中学校に示したい。

（全員異議なし承認）

（３）安城市立小学校及び中学校の通学区域を定める規則の一部を改正する規則の制定について

議題（３）について学校教育課長説明する。

内容：通学の安全上、必要であるため通学区域を定める規則の一部を改正する規則の制定をしたい。

大見委員長：実態に合わせるということですね。実態というのは、今は指定学校変更願を出さないといけないようになっているのですね。

学校教育課長：指定学校変更願を出せば、安全上のことや町内会のつき合いなどのことで許可がおりるのですが、一々そういうことをしなければいけない状態になっています。

大見委員長：今後は、このように変えれば、変更願を出さなくても今の学校へ行けるとということですね。

（全員異議なし承認）

第 4 報告事項

（１）生涯学習部所管施設の上半期利用状況について

報告事項（１）について生涯学習部各課長説明する。

内容：生涯学習部所管施設の上半期の利用実績

都築委員：青少年の家の利用が減少したということですが、グループで泊まるというのは、ソフトボールチームとかそういった方々が合宿で使うということですか。

生涯学習課長：基本的には、そういった活動団体が合宿という形で利用するのがほとんどです。学校や企業系の団体が、今まで５０人とか６０人の大勢で合宿していたのが、ここ数年は減少しているような気がします。今は、ほとんどが２０人程度となっています。一回の利用が前日の午後と夜間、翌日の午前と午後と全部で４利用としてカウントされ、部屋も複数で使いますので、部屋ごとのカウントでは、かなりの利用回数が違ってきます。実質人数で４０人減ったのが、１０回利用すると４００人の実人数なのですが、利用回数と利用の部屋という

カウントでいうと3千とか4千という数字が変わってしまいます。その集計方法がいいのか悪いのかということが一つありますが、例えば、公民館まつりだと、100人の方が来館して各部屋を見てもらうと、それぞれの部屋で100人をカウントします。それと同じ考え方にするとこのような数字になってしまいます。また、会議で午前と午後使うとそれぞれで100人をカウントしています。これは稼働率との兼ね合いがあります。稼働率ですと1利用単位で計算しますのでどちらが正しいかはなかなか難しいと思いますが、現状としてはこういうカウントをしていますので、このような数字になってしまうということでご理解をいただきたいと思います。

大見委員長：歴史博物館の説明で去年は昭和ミニチュア展が好評で、来館者数が多かった。それから、今年は「北斎の富士」がよかったのだけれど、タイミングが悪く10月から増えたので来館者数が伸びなかったという説明がありました。私が思ったのは、北斎の企画というのは一般受けする企画だと思いました。ところがPRの仕方が下手なのか、NHKが取り上げたのが遅いという話がありましたが、そこをいかに早くこういう企画をやりますので、例えばNHKの人にまずは一回見に来てください。それで、これは面白いということになれば、もっと早く取り上げてもらえて、来館者がもっと増えたのではないかと思います。来ている人を見ても、北斎の時は食い入るように見ていました。マスコミにどこで取り上げてもらうのかは難しいとは思いますが、あの企画はもっと来館者を増やすことができたのではないかと思います。

文化振興課長：我々としては、言い訳になってしまいますが、まずは記者会見を行い、NHKを含めたマスコミ各社を招待したのですが来ていただけなかった。次に内覧会を開いたのですが来ていただけなかった。その後、取材を受けたのですが、取材自体はもう少し前におこなわれていたのですが、岡崎市でサルが逃げたという事件があり、そちらが優先されたため、1週間ぐらい放送が遅れてしまったということがあります。今後は、定例記者会見でもっと強くアピールできるようにしていきたい。また、報道機関への“投げ込み”等は現在もやっていますが、もっと来てもらえるようにPRしていきたいと思います。

(質疑なし)

(2) 平成28年安城市成人式の開催について

報告事項(2)について生涯学習課長説明する。

内容：平成28年1月10日(日)にデンパークで、安城市成人式を開催する。対象者は、2,134人。

(質疑なし)

(3) こどものまちドリームタウンの開催について

報告事項(3)について生涯学習課長説明する。

内容：12月12日(土)及び13日(日)に安城市文化センターで、「こどものまちドリームタウン」を開催する。

(質疑なし)

(4) 第3次安城市生涯学習推進計画(案)に係るパブリックコメントの実施状況について

報告事項(4)について生涯学習課長説明する。

内容：第3次安城市生涯学習推進計画のパブリックコメントを10月6日から11月5日まで募集した結果、2件の意見が提出された。

大見委員長：かなりしっかりとした意見が出ていたようですが。

生涯学習課長：いろんな事業で我々と一緒に共同で仕事をしている団体の代表の方からのご意見です。

大見委員長：非常にまじめに読んでいただいて、まじめに意見を出していただいているので、きちんと検討していただければと思います。

(5) 第36回安城選手権大会秋季競技会成績結果について

報告事項(5)についてスポーツ課長説明する。

内容：第36回安城選手権大会秋季競技会が、10月3日(土)から11月1日(日)まで行われ、延べ2,363人が参加した。

(質疑なし)

(6) 第36回安城選手権大会冬季スキー競技会について

報告事項(6)についてスポーツ課長説明する。

内容：平成28年2月20日(土)に白馬五竜スキー場で、第36回安城選手権大会冬季スキー競技会一般の部、また平成28年3月6日(日)にひだ舟山スノーリゾートで少年の部をそれぞれ開催する。

大見委員長：スキー大会の競技種目が昔ながらのスキーだけなのですが、

いまどきの世代ではスキーよりもスノーボードが主流になりつつあると思います。スノーボードを種目として、新たに取り上げる動きはないのですか。

スポーツ課長：NPO法人体育協会の中にはスキー連盟しかありません。スノーボード連盟が組織を作って加盟していただければ、そうした競技もやることはやぶさかではないのですが、現段階では安城市にはそうした組織がありません。大会となるとそういった組織が運営していただけないとできないものですから、現状としてはスキーのみの冬季大会となっています。

大見委員長：わかりました。仕方ないのかも知れませんが、これを見る度にまだスキーだけかと思ってしまいます。若い人はスノーボードの方に魅力を感じると思いますので、会場の都合で一緒にはできないかもしれませんが、何とか工夫できるとよいと思いました。

(7) 第2次安城市スポーツ推進計画(案)に係るパブリックコメントの実施状況について

報告事項(7)についてスポーツ課長説明する。

内容：第2次安城市スポーツ推進計画のパブリックコメントを10月6日から11月5日まで募集した結果、1件の意見が提出された。

(質疑なし)

(8) 第3次安城市子ども読書活動推進計画(案)について

報告事項(8)について中央図書館長説明する。

内容：計画案を策定した。年明けにパブリックコメントを行い、来年4月から施行したい。

大見委員長：目標値をもっと高くしてもよいのではないかと思いました。市の総合計画審議会の中でもそういう質問がされていたと思います。新しい図書館ができれば、もっと数値を延ばせるのではないかと思いますかどうか。

中央図書館長：今回重点施策で、20の目標指標を設定させていただきましたが、少し控えめの目標数値が多いのではないかと私自身も思っています。例えば、⑫番のティーンズコーナーの充実では、図書情報館の設計の段階からこういう形での推進を考えていましたので、蔵書数は10倍の2万冊に増やします。貸出冊数を蔵書数で割り返した数

値を蔵書回転率と言いますが、現行は蔵書2000冊で貸出が1万冊ですので、これですと回転率が5回ということです。この5回を目標数値にするのがチャレンジ的な数値になるのではないかと思います。蔵書全体の平均回転率3回で積算していますので、少し現実的な数値に設定しているということはお指摘のとおりだと思います。このような現実的な数値をまずはクリアするというので、子どもの読書の推進に努めたいと思っています。

第 5 その他

大見委員長：先ほど私が委員長の報告の中で忘れていたのですが、11月7、8日と鹿児島の方へ行ってきました。そこでは来年愛知県で開催される国民文化祭というものを開催していました。来年のことなのでまだ先の話ですが、たまたまその日が日曜日だということもあったかもしれませんが、私が見た限りでは結構盛り上がっていました。各自治体がいろんな企画をして、それが全体で国民文化祭という形をとっていました。国民文化祭の公式のガイドブックというものをもらってきたので教育長に渡しておきました。参考のために使っていただければと思います。それから、次回の定例の教育委員会で結構ですが、名古屋市でいじめの問題がかなり大きく報道されていますが、安城市でもいじめをいかに把握していくかということが大きな問題だと思います。現状の報告というか、どんな形をとっているかを報告いただいて、意見を交換したいと思っています。次回までに準備をお願いします。

都築委員：大津市の市長と教育委員会のバトルが報道されていましたが、最近は何もないものですから、その後どういう経過を辿っているのか分かれば教えてください。

大見委員長：幸い安城市では、今のところそういう事件が上がってこないのでもいいんですが、今後のことを考えたときに、たまたま名古屋市でああいうことになったものですから、いきつけになると思いますし、我々がどういうことができるのかも含めて、まずはどういう形で子どもたちのSOSを把握しているか、どういう体制でどういうことが行われているかを含めて、我々としても情報がほしいのだけだと思います。

総務課長：次回の教育委員会の日程ですが、定例教育委員会を1月7日

(木) 午後 1 時 3 0 分から、教育センター会議室で開催させていただきます。

閉 会 午後 2 時 2 5 分